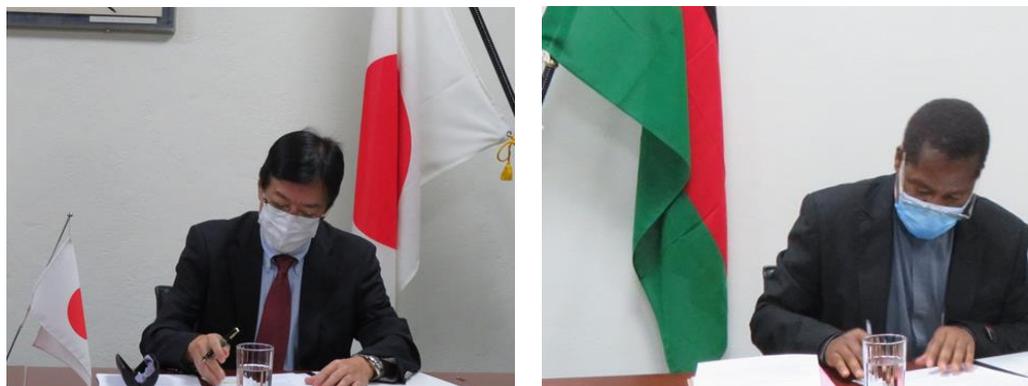


草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和3年度

「バラカ県ウロングウェ・ヘルスセンター外来病棟建設計画」
署名式

2021年12月1日



贈与契約の署名を行う岩切大使（左）とウロングウェ・ヘルスセンター責任者、
メドリック マキシモス チンブワニャ神父（右）



岩切大使とウロングウェ・ヘルスセンター関係者

2021年12月1日、岩切敏大使とウロングウェ・ヘルスセンター責任者、メドリック マキシモス チンブワニャ神父は、「バラカ県ウロングウェ・ヘルスセンター外来病棟建設計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。この贈与契約は、ウロングウェ・ヘルスセンターがバラカ県カレンボ地区に新たに外来病棟を建設するための資金、91,624米ドルを日本政府が同ヘルスセンターに供与するものです。本贈与契約署名式に出席したマラウイ・キリスト教保健協会、マカラ代表を含む関係者からは、日本政府および日本国民からの寛大な支援に対する謝辞が述べられました。

1970年に建設された現在のウロングウェ・ヘルスセンター外来病棟は、老朽化が進む狭い施設であるため、12万人にのぼる地域人口の増加に伴う患者数増加に対応できるスペースが不足しており、適切な外来医療の提供に支障が生じています。

このプロジェクトでは、同センター内に適切なスペースを有し、時代に適した外来診察、検査、薬剤調合、予防接種、カウンセリングおよび短時間ステイなどが可能な外来病棟を新たに建設することで、地域住民の健康促進に寄与します。

岩切大使は式典中のスピーチで、本プロジェクトにより同センターの医療環境が改善され、地域住民に対して、適切な外来医療施設内でより良いサービスを提供することが可能になることを強調しました、また、同センターおよびマンゴチ司教区に対して、適切な資金管理の下でプロジェクトを実施し、確約された医療機器の設置を適切に行うよう述べました。。